



夢に生きたい

3年生用

Takeokadai High School
進路指導部 第 4 号
発行日 R. 10. 6

大学入学共通テスト志願票出願完了！

～大学入学共通テストまであと100日～



1月14日(土)・15日(日)に実施される大学入学共通テストまで本日10月6日(木)でちょうど100日になりました。導入3年目となる共通テストは、「複数の文章や多様な資料」、「対話形式の文章」が示されることで問題文の分量が増え、過去のセンター試験とは異なる「新傾向の出題」も増えています。これから各教科でも本格的に対策が始まると思いますが、全教科に共通するポイントを挙げてみました。

① 基礎事項の徹底と確認は必要不可欠

共通テストといえども、必要とされる知識はあくまでも高校の教科書の範囲内なので、基礎事項の徹底と確認は必要不可欠です。共通テストにも従来のセンター試験と同様の問題も出題されています。センター試験の過去問の活用は今後も有効です。

② 新傾向の問題対策は、模擬試験をうまく活用すること

共通テストでは、身につけた知識を、さまざまな場面で活用して解く問題が増えています。模擬試験のように、出題傾向を押さえた新作問題を解くことは、共通テスト特有の出題形式に慣れるとともに、知識や解法などをどれだけ深く理解して身につけているか、自分の課題を確認する上で有効です。見慣れない「初出の」問題への対応力を高めることに活用しましょう。これからの1ヶ月は、模試の連続です。ただ受けるだけでは、効果は半減です。その週の放活等を使って、模試の振り返りを充実させましょう。

◆大学入学共通テスト本番までの流れ

●10月下旬 学校経由で「確認はがき(出願受理通知)」が届く

↓
氏名・住所・履修課程・登録(受験)教科名・試験実施期日・成績開示の有無など、登録内容を確認
↓
間違いがあった場合は、学校経由で返送(「住所等変更・訂正届」や「登録教科等訂正届」に訂正内容を記入)

●12月中旬 学校経由で「受験票」「写真票」「成績請求票」「受験上の注意」が届く

↓
受験まで紛失しないように保管
※「成績請求票」は国公立大学の個別試験や大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜、私立大学や短期大学の大学入学共通テスト利用試験の出願に必要。
※「受験票」は個別試験や大学の入学手続きにも必要。

◆大学入学共通テストまでの学習プラン

●10月 学習のリズムを定着させる

- ◇目標は「平日5時間以上、休日10時間以上、週合計40時間以上」
- ◇一日のやるべきこと、一週間のやるべきことの明確化と実践
- ◇理科、地歴公民の対策を本格スタート(まず授業中心)
- ◇個別試験科目の傾向を研究(記述型を意識した学習スタイル)

●11月 科目ごとに理解を深める

- ◇実践的な問題演習(時間配分のスキルを身に付ける！)
- ◇苦手科目の弱点補強
- ◇模試の復習(間違った箇所を丹念にやり直す！)

●12月中旬 復習モードに切り替える

- ◇新しいものには手を出さず、基礎・基本の復習重視

●1月 大学入学共通テストの直前対策をする

- ◇これまで書き込んできた自分のノートを見直し、最終確認
- ◇直前演習を通して、弱点分野の確認と補強

【参考】～脳科学的学習法～

時間を区切る「ポモドーロ法」

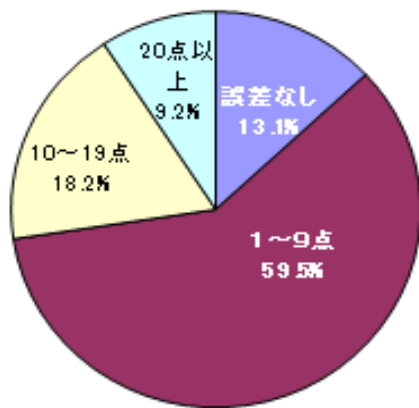
脳科学的に有効とされる学習方法の「ポモドーロ法」とは、「25分勉強+5分休憩」を繰り返す学習法です。人間の集中力は、物事に取り組み始めてから10～15分が最も高まり、開始15～30分くらいで学んだことを、最も覚えているそうです。そして短時間の急速は記憶の定着に効果があると言われます。

「ポモドーロ法」を生かすポイントは、勉強する前に周囲から気が散りそうなものを排除すること。脳はちょっと意識をそらしただけで一気に集中力が落ちてしまいます。

(旺文社「蛭雪時代9月号」より)

◆今後の留意点

●自己採点はとにかく正確・慎重に！約4人に1人は10点以上の誤差(ベネッセ High school on line より)



左のグラフは過去の11月の進研マーク模試での自己採点の誤差を表したものです。なんと**約4人に1人は10点以上の自己採点ミスをしている**ことがわかります。もし大学入学共通テストの自己採点でこれほど大きな誤差があれば、**出願ミス**につながる可能性があります。「**正確な自己採点**」のために、以下のポイントをしっかり守って、日頃の模試でも**慎重に解答、自己採点**しましょう。

- ☐ 受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認。
- ☐ マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」の確認。
- ☐ 自分の解答を問題冊子に必ず控えること。また、訂正した場合、問題冊子の訂正も忘れない。
- ☐ 訂正の際は完全に消しゴムで消す。
- ☐ 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直す。

※自己採点の間違ひは、マークミスだけでなく自己採点時にも起こるので要注意！！

●受験勉強を支えるのは、健全な身体と心

これからの季節は体調を崩さないように、**健康管理に十分注意**することが重要です。今年度も感染症対策を万全にしておく必要があります。**生活習慣・学習環境を改善**して、受験後半戦そして試験本番に備えましょう。

- ①大学入学共通テスト開始は9:30。夜型は徐々に朝方に。
- ②食事をしっかりとる。
- ③受験勉強中に迎える年末・年始の生活リズムを崩さない。
- ④勉強部屋の整理整頓をする。

●残りのテストについて、再度確認

10/ 8 (土)	ベネッセ・駿台記述模試	11/28(月)~12/1(木)	卒業考査
10/15 (土)	全統記述模試	12/13 (火) ~15 (木)	三者面談・直前演習Ⅰ
10/16 (日)	特定大プレテスト	12/17 (土)・18 (日)	北予備共通テストファイナル
10/22 (土)	鹿大プレテスト	12/24 (土)・25 (日)	直前演習Ⅱ
10/29 (土)・30 (日)	ベネッセ・駿台共通テスト模試	1/ 4 (水)・ 5 (木)	直前演習Ⅲ
11/19 (土)・20 (日)	全統プレ共通テスト		

模試の活用こそが合格のポイント(本番を想定して受ける。しっかり振り返り、取り組みを見直す。次につなげることが大事。)

◆総合型選抜・学校推薦型選抜受験について受験のポイント！

～志望理由書の作成・面接・小論文の準備は早めに～

(1) 受験先の学校が知りたいこと = 「あなたの『過去』『現在』そして『未来』」

- ① 過去 あなたがこれまで頑張ってきたことは何ですか？
- ② 現在 今、あなたはなぜ他の学校ではなくこの学校を希望するのですか？
なぜこの学部・学科なのですか？
- ③ 未来 あなたの将来の夢は何ですか？目標は何ですか？
あなたの夢は社会とどう繋がっていますか？



これまでの自分、そして、将来の社会や自分のことに思いを巡らし、「将来何をしたいか？」「どのように生きたいのか？」「そのために今何をしようとしているのか？」「何が必要なのか？」がきちんと答えられればOK。

(2) 「志望理由書」や「面接」でうまく伝えるために

- ① 相手に「地図」を渡す これから伝える内容の大筋(=「地図」)を最初であらかじめ相手に渡す。
- ② 「幹」と「枝」 話題の「幹」になる内容と「枝」になる内容を意識する。
- ③ 「目」に浮かぶように これまでの自分や受験先の学校で学んでいる自分、そしてこれからの自分の姿が「目」に浮かぶように、具体例や数字をうまく利用する。

進路志望により周りの状況が多様化してきて、個人戦の様相を帯びてきますが、今ここでお互いが頑張ることによって「クラスみんな頑張ろう」といういい雰囲気を作っていきましょう。**頑張れ 34期生!!**